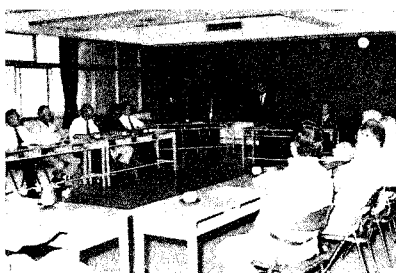


市立病院建設計画 ゴーサイン 答申

都留市医療整備審議会

○入院を主とした2次医療に重点

○場所は、つる五丁目、地内の適地に



▲答申を受け市長がお礼のあいさつ

市立病院建設計画の諮問を受けた都留市医療整備審議会(会長、功刀都留医師会長)では四月から五カ月の日数をかけ、延十回(部会五回、審議会五回)に及ぶ会合を開き、二十五名の委員が誠実に協力し、慎重審議を重ねた結果、八月二十六日の会議で結論を得て会長から高部市長に貴重な答申がなされました。功刀会長は委員を代表し、答申に際して市長にこの答申内容にそって計画が目標年次の六十年までにりっぱに完成し、開設の運びとなり市民の医療確保に役立つことを強く希望しました。市長もお礼のあいさつの中で計画にそって最大限の努力を払う覚悟であることを誓い、六十年の目標年次に完成できるように今後の協力を要請しました。

答申内容は、病院的な性格の診療科目、病床数・外来、建設位置、施設の規模、その他に分類され、つぎのような内容となっております。

△病院の性格づけ▽市民に比較的多い循環器系疾患の診療を中心とした入院患者を主とする二次医療に重点をおく。高齢化社会に対応した老人医療を主とする病床を確保する。また健診センター(人間ドック)の予防医療にも力を入れる。運営面では地域開業医との連携を図る。

△診療科目▽内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、歯科。このほかに特殊専門性を有する科目(眼科など)を加える可能性をもたせる。なお特殊診療施設として健診センター(人間ドック)、リハビリテーションを、関連保健施設として看護婦養成機関、市保健センターを併設する。

△病床数・外来▽病床は一五〇床の規模を基準とするが、需要に応じ将来は二〇〇床程度まで増床が可能にする。外来は急性疾患を除き、原則としては紹介制。地域中核病院としての役割を果たすため、軽症患者に手がとられ、重症患者への診療が手薄にならないように努める。

△建設位置▽全市民の利用を考え、交通機関、道路などの利便性、周辺環境を重点に、敷地としての広さなど諸条件から検討の結果、将来的に「つる五丁目一番」地



内が最良と判断した。しかし用地買収には困難が予想されるため、別の適地選定の含みももたせる。

△施設の規模▽敷地面積は一万二、〇〇〇平方メートル以上とし、建物は鉄筋コンクリート造りの地上三階地下一階で保健センターも含め、七、五〇〇平方メートル程度を基本とする。

都留診療所に整形外科がオープン!

△その他▽市内の民間医療機関及び関係団体との連携を図り医師研究の場が設置できるよう努める。ヘリポートとして利用できる施設の確保に努める。開設時の手順としては、段階的に逐次整備する方法が望ましい。基本的性格づけ等必要事項の市民への周知徹底を図る。

診察日 毎週火曜日と第一第三
土曜日
受付時間 午前8時30分～午前11時
なお、十月に限り土曜日の診察は二十四日、三十一日となっております。

都留市の気象

	56年8月	55年8月	10年間の平均
最高気温	(31) 35.2 °C	(15) 34.0 °C	35.1 °C
最低気温	(6) 13.6 °C	(9) 16.0 °C	15.3 °C
平均気温	23.7 °C	22.1 °C	24.0 °C
降水日数	1mm以上7日	1mm以上11日	1mm以上10日
降水量	226.5mm	142.5mm	189.0mm
平均湿度	84%	81%	80%

都留市消防署調べ()はその日